

2024(令和6)年度 事業報告

(自・2024年4月1日 ～ 至・2025年3月31日)

今日、世界の各地での出来事は臨場感をもって目の中に飛び込んできます。気が付かぬ間に、さまざまな情報に支配されて、私たちが培ってきた価値観や人間観が揺らいだり、試されることがたびたびです。しかし、私たちは2024年度もミス・ペインのまかれた種を今の時代にふさわしく育てるために力を合わせて歩んできました。

各種助成金やエッセイ等公募への応募者も一定数あり、われわれの事業の周知が進んでいる結果と思われまます。ミッションに掲げてある「国際性」の実現のためにアジアの国々への支援が続けられており、2024年度もバングラデシュへのいくつかのプロジェクトへの支援をしました。しかし、アジアの国々は圧倒的な貧困問題への対応が必要であり、アジアの社会福祉の担い手を育成したいとの我々の希望との整合性のある企画に出会うことには難しさを感じました。次年度の大きな課題と思われまます。

能登震災への支援は時間の経過と共に支援の方法を確定する困難がありましたが、現地に出向き、実情を確認して現地の希望に沿った支援をすることができました。

世界の戦禍に苦しむ人々の姿は、第二次世界大戦後の80年前の日本の姿と同じです。今の日本は、インフラは整いましたが、目にみえない分断や不安が社会を覆い、生活困窮や生きづらさを感じている者は多くいます。私たちの事業活動もこれらの課題に向き合って続けてきたと思います。

I 公益目的事業

1. 社会福祉育成活動推進事業

◀ 財団が主催する公募事業 ▶

(1) 一般助成 (公益目的区分 **I**) 【助成総額 25,338千円】

比較的小規模な社会福祉法人、NPO法人、非営利任意団体等に公募によって1件あたり30万円を限度に什器、備品等へ資金助成をした。

ホームページよりWEB申請にて受付。Q&Aを掲載し問い合わせの削減を図った。また、申請開始日を昨年より1ヶ月早めて審査期間と採択された団体の助成事業を行う期間を長くした。より多くの団体に助成する為に2年連続の申請を不可とした。本事業への期待は大きく社会福祉施設等多方面からの応募があった。

公募期間： 2024年8月1日～10月1日

応募件数： 160件

採択件数： 102件(社福10、特非51、一社13、公社2、任意団体21、他5)

採択結果はホームページに掲載

選考会： 2024年11月15日

選考委員： 坂岡隆司、高橋みちる、高原敏夫、高山和久、藤沼真由美

委員会： 2024年4月26日、11月15日

(2) 特別助成金 (公益目的区分 **工**)

【 助成総額 7, 290 千円 】

2024 年 1 月、令和 6 年能登半島地震により被災した施設等に対して助成する。

訪 問 日 : 2025 年 3 月 11 日

石川県輪島市三井町所在の「一般社団法人のと復耕ラボ」を視察し、被災状況を確認しつつ現地
災害復興に不可欠な機材として油圧ショベル(ユンボ)と軽貨物自動車購入費用を緊急支援金と
して助成した。

(3) ペイン記念奨学金 (公益目的区分 **工**)

【 助成総額 4, 439 千円 】

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的としての給付型奨学金。

大学院課程(博士前期課程・博士後期課程)の学生に1年間100万円を限度として授業料相当額及
び10万円の研究補助費を給付する。給付期間は2年。

対 象 : 指定19大学 福祉系大学院生

公募期間 : 2024 年 4 月 1 日 ~ 5 月 15 日

選 考 : 1 次 (書類審査) 2 次 (面接)

応募人数 : 13 名 決定人数 : 4 名

給付人数 : 7 名 (内 2 年目受給者は 3 名)

選 考 会 : 2024 年 6 月 14 日 面接 7 名

成果報告 : 2025 年 2 月 6 日 (6 名愛恵ビル 1 名 ZOOM 参加) 報告後ティータイム開催

選考委員 : 李 善恵、柴田謙治、細井 勇、河合裕志、遠藤久江

委 員 会 : 2024 年 6 月 14 日、2025 年 2 月 6 日

(4) 社会福祉啓発事業(愛恵エッセイ賞募集) (公益事業区分 **ウ**)

【 事業総額 1, 884 千円 】

一般社会の福祉に対する意識やさまざまな体験などを募集し福祉意識の啓発事業として実施
している。公益財団法人東京 YMCA との共催事業。原則として東京 YMCA のホームページの
サイトから投稿する。学生の部は学校単位での応募を再開した結果 9 名から 105 名に増えた。

テ ー マ : 「豊かな福祉社会を創るために」

副 題 : 「戦後 80 年になるんだって! ?」

公募期間 : 2024 年 9 月 16 日~11 月 15 日

応募方法 : 公益財団法人東京 YMCA のホームページへ投稿

応 募 数 : 一般 93 名、学生 105 名、専門職 8 名、外国籍 3 名 計 209 名

選考委員 : 八尾 勝、河合裕志、西崎攻司、今野武美

委 員 会 : 2024 年 7 月 22 日

選 考 会 : 2025 年 1 月 21 日

表 彰 式 : 2025 年 3 月 8 日 第 2 部 ダニー・ネフセタイ氏による講演会

「イスラエル軍元兵士が語る非戦論」 北とびあにてYouTube配信実施

受賞作品集配布先 : 400 部印刷。応募者、愛恵財団理事、監事、評議員、東京 YMCA、

その他に配付

愛恵エッセイ賞表彰結果

一般の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	3名	佳作賞	2名	
学生の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	2名	佳作賞	4名	奨励賞 1名
専門職の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	1名	佳作賞	2名	
外国籍の部	：	最優秀賞	1名	優秀賞	1名	佳作賞	1名	

(5) 特別支援（公益目的区分 **Ⅰ**）

自然災害や感染症の流行、また様々な事情により困窮している人たちへの支援

(2) 特別助成金の予算 500 万円と特別支援の 500 万円を併せて「一般社団法人のと復耕ラボ」へ 7,290 千円を助成した。 * (のと復耕ラボと称します)

(6) 国際支援（公益目的区分 **Ⅰ**）

- ・ バングラデッシュ スクールソーシャルワーク活動の支援 **【3, 000 千円】**

2024 年度活動 3 年目（最終年）

MD.Habibur Rahman 氏をリーダーとして取り組んでいる「Community Feedback on Acceleration Mental Health Development through School Social Work Intervention among Secondary School Students Project」【バングラデッシュ 中学生のメンタルヘルス改善へのスクールソーシャルワークのパイロット的取り組み】に対して支援を行ってきた。

このプロジェクトはダッカを中心に 6 校で実施され、教師、保護者、スクール・ソーシャルワーカーが連携を取りながら、学校生活がうまくいくように、子どもたちの行動の変化や改善を確認しながら、行われてきた。担当するソーシャルワーカーの育成をしながら進められて来たプロジェクトであり、バングラデッシュにとっても、この分野の嚆矢となるプロジェクトであったと思われる。

- ・ アジア、アフリカ教育支援 **【3, 023 千円】**

アジア、アフリカにおいて福祉の担い手を育てる活動をしている組織への支援

- ① 一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会へ **150 万円**

「平和と調和ある未来を創造する人材を育む国際相互理解推進イベント」の開催

実施期間 2024 年 5 月～2025 年 1 月

公演回数 23 箇所 講演場所：北海道、東京、神奈川、大阪、京都、福岡、佐賀、沖縄

参加者数 2,881 名

テロ紛争の地から、日本の子ども、教員、NPO に携わる若者、一般市民に対して、平和と国際情勢、真に豊かな社会の基盤となる「一人ひとりの相互扶助力」の講義を行い国際状況、国際支援活動への関心を高めることができた。

- ② アラップの会 ～荒井眞理バングラデッシュ活動支援～ **50 万円**

派遣講師 2 名の渡航費用とバングラデッシュの聾学校教師の研修参加費用

実施期間 2024 年 7 月 15 日～7 月 21 日

参加者 日本から 2 名、バングラデッシュ教員

聾話教育事業の変容、縮小がなされている現状から更に持続可能な学校運営を目指すため、
現地教師たちの育成及び聴覚障害児学校の働きを支援するための巡回研修及びアドバイザー養成を実施した。

③ 一般社団法人日本ビルマ救援センター 110 万円

ミャンマー カレニー州バンサル村における学習センター校舎の建設

実施期間 2024 年 11 月～2025 年 3 月

事業地 ミャンマー カレニー州 Demoso の西方にある Bansar 村

実施団体 日本サイド 一般社団法人日本ビルマ救援センター

現地サイド Bansar School Project Team

ミャンマー カレニー州バンサル村の森の中に学校（学習センター）を建設し同村周辺に避難
してきた国内避難民の子どもたち及び村民の子どもに教育の機会を与える、子どもの数は 5 歳
から 18 歳までの約 230 人。

バンサル村に周辺の軍事政権側に見つかりづらい森の中に学習センターを建設した。

校舎 2 棟（小学生用と中高生用）、トイレ 4 室、貯水槽 1 基、

学習用机、椅子（3 人用）30 セット、事務用机、椅子、文房具、ホワイトボード

国際支援企画委員：平田美智子、立脇恵子、野田有紀、方こそも、木村真理子

上記委員会では 2024 年度をもって閉鎖をし、新たな国際支援の方策を検討する。

委員会開催：2024 年 7 月 2 日、2025 年 1 月 28 日

＜ 財団が共催、後援する公募事業 ＞

本事業は公益法人、NPO 法人等 非営利法人や団体が実施しようとする以下の公益事業、社会福祉
活動等を公募し共催・後援する。

実行計画が財団の定款にある目的、事業に則しており、成果が期待できる事業に支援する。

(1) 研修（海外、国内）（公益目的区分 **ア**） 【10,350 千円】

社会福祉の向上、発展のため協業する団体や異業種間の組織、法人が人材の育成、制度の在り方等
の学びを海外に求めるとき、また国内において同様の研修を計画・実施することを支援する。

① 日本キリスト教社会福祉学会・韓国キリスト教社会福祉実践学会主催 500 万円

「共に生きる共感プロジェクト (compassion Project for Living Together)」

2024 年 9 月 2 日～9 日 韓国で実施 参加者 13 名

両学会が 2023 年 6 月に学術交流覚書を提携したことを記念し、日本の学会員が韓国に行って、
日韓の歴史を学び、社会福祉の実践、研究を通して平和を構築するための学びをした。

報告書が作成されている。

② 特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金 (ACEF) 385 万円

バングラデシュの Basic Development Partners (BDP) が実施する 初等教育及び幼児教育の
担当教師のため、教育の質を上げるための研修。日本から講師を派遣して実施された。

初等教育研修 2024 年 9 月 17 日～9 月 23 日 50 名参加

幼児教育研修 2025 年 3 月 10 日～3 月 13 日 14 名参加

実施場所 バングラデシュ国ガジプール県プーバイル地区 (BDP プーバイル研修センター)

- ③ 社会福祉法人横須賀基督教社会館 韓国研修生受け入れ事業 150 万円

韓国・仁済大学福祉学科学生の実習、研修を受け入れた。

実施期間 2025 年 1 月 9 日～2 月 12 日

実施場所 横須賀基督教社会館の事業所、特別養護老人ホーム 衣笠ホーム

参加者 2 名

- (2) 講座、講習、セミナー等の開催 (公益目的区分 イ) 【2, 6 8 6 千円】

社会福祉の担い手には、常に新しい知識及び技術を学習し社会福祉活動に寄与することが期待されるので、求める知識等の習得の機会が得られるよう、企画、開催・実施を支援する。

- ① 特定非営利活動法人東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 30 万円

誰もが安心して地域で暮らす社会を作るために私たちにできること

～つくば自立生活センターほにゃらの挑戦から学ぶ～

実施日 2025 年 3 月 1 日

実施場所 東京 YWCA カフマンホール

パネリスト 川島映利奈氏・森下直美氏・柴田大輔氏

- ② 特定非営利活動法人東京 YWCA 福祉会 50 万円

発達障がい、知的障がいのある方の就労場面での社会性訓練のための S S T (ソーシャル・スキルズ・トレーニング) 設備充実と実施

実施期間 2024 年 4 月～2025 年 3 月

実施場所 就労継続支援 B 型「Ys コート ゆい」

- ③ 公益財団法人東京 YWCA 50 万円

読むことが困難な人々への読書支援のための講習会 (音訳講習会／マルチメディア DAISY 製作講習会)

・音訳講習会

実施日 2024 年 10 月 8 日、16 日、23 日、11 月 1 日、15 日、20 日、26 日、
12 月 4 日、2025 年 1 月 22 日

実施場所 東京 YWCA 会館

参加者 9 名×9 回

・マルチメディア DAISY 製作講習会

実施日 2025 年 1 月 29 日、30 日

実施場所 愛恵福祉支援財団

参加者 10 名×2 回

- ④ 日本地域福祉施設協議会 50 万円

第 29 回全国地域福祉施設研修会及び児童部会

実施日 2025 年 2 月 14 日、15 日

実施場所 大阪キリスト教短期大学

⑤ 公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会 27 万円

矯風会創立記念 138 周年記念集会

「誰もが安心して生きられる社会の実現を目指して」

講 師 信田さよ子氏（日本公認心理士協会会長）

実施日 2024 年 12 月 6 日

実施場所 矯風会館ホール

参加者 108 名（会員 44 名、一般 64 名）

⑥ 日本臨床死生学会 50 万円

第 29 回日本臨床死生学会総会 第 48 回日本自殺予防学会総会 合同大会

実施日 2024 年 9 月 13 日～15 日

実施場所 埼玉会館

⑦ 特定非営利活動法人ギフト 11 万円

「発達しょうがい児や発達グレーゾーンのこども達に体幹トレーニングをしながら、
悩みを共有する場、学びを共有する場を定期的を開催する」

実施日 2024 年 11 月～3 月の間 6 回開催

実施場所 放課後等ディサービス「アソビバ」

共催・後援公募事業審査委員：八尾 勝、百瀬圭吾、近藤真里子

委員会：2024 年 6 月 4 日、7 月 4 日、2025 年 1 月 22 日

II 収益事業

財団が保有する「愛恵ビル」は、財団の公益事業推進の拠点として使用されている他、所有スペースを収益事業として貸与している。（収益の 50%以上を公益事業に振替える。）

2024 年度の 事業収入 7, 222 千円

・テナント ESS 株式会社 3 室（10B、20B、40A） 良公監査法人 1 室（20A）
NPO 法人紡希の杜 1 室（30B） 計 5 室

・時間貸しユーザーについては事務局内にユーザー名、日時、目的等を公開している。

・収益の全額を公益事業に繰り入れた。

Ⅲ 法人管理

1. 評議員会・理事会の開催

評議員会の開催

定時評議員会

開催日時： 2024 年 6 月 13 日
審議及び決議事項： 報告事項 2023 年度 事業報告の件
決議事項 1) 2023 年度 決算報告(案) 承認の件
2) 次期理事・監事選任の件
3) 次期評議員選任の件

臨時評議員会

開催日時： 2025 年 3 月 18 日
審議及び決議事項： 第 1 号議案 理事 1 人選任の件
(但し任期は 2026 年度定時評議員会終了時まで)
第 2 号議案 2025 年度 事業計画 (案) 承認の件
第 3 号議案 2025 年度 収支予算 (案) 承認の件

理事会の開催

第 1 回定時理事会

開催日時： 2024 年 5 月 23 日
審議及び決議事項： 第 1 号議案 2023 年度 事業報告 (案) 承認の件
第 2 号議案 2023 年度 決算報告 (案) 承認の件
監事監査報告の件
第 3 号議案 役員候補者に関する件
第 4 号議案 2024 年度定時評議員会開催に関する件

第 1 回臨時理事会

開催日時： 2024 年 6 月 13 日
審議及び決議事項： 第 1 号議案 代表理事選定の件
第 2 号議案 業務執行理事 (常務理事) 選定の件
第 3 号議案 委員会委員承認の件
第 4 号議案 公益目的事業に関する委員会規程改定、および委員確定の件

第 2 回臨時理事会

開催日時： 2024 年 9 月 26 日
審議及び決議事項： 第 1 号議案 常務理事退職慰労金支給の承認の件
第 2 号議案 2024 年度基本財産運用収入の対予算、約 1,200 万円増収にかかわる支出計画の件

第3回臨時理事会

開催日時： 2025年1月23日

審議及び決議事項： 第1号議案 業務執行理事(常務理事)選定の件
第2号議案 2025年度 事業計画案 概要の件
第3号議案 2025年度 事業収支予算案 概要の件
第4号議案 2024年度 臨時評議員会開催の件

第2回定時理事会

開催日時： 2025年3月4日

審議及び決議事項： 第1号議案 理事1人選定及び評議員会への推挙の件
(但し任期は2026年度定時評議員会終了時まで)
第2号議案 2025年度 事業計画(案)承認の件
第3号議案 2025年度 収支予算(案)承認の件
第4号議案 委員会の委員委嘱の件
第5号議案 就業規則・賃金規程の一部改訂の件
第6号議案 久保悦子前常務理事への役員退職慰労金に関する件

役員懇談会の開催

開催日時： 2024年12月12日

議題

1. 今後の基本財産の守り方について、来年度の事業について
新しい支援事業について
 - ① 国際支援の在り方について 国際会議への出席に対する助成など
 - ② 大学で社会福祉関連の寄付講座の開設(同志社、明学、関西等)
 - ③ キリスト教関係者で社会福祉関連の研究で出版したい人への支援
2. 今後の基本財産の守り方について
このまま債券の運用だけで良いか、不動産について考えた方が良いか。
3. 中期計画について
見通しのある計画をどのように作成したら良いか。
あと6年で愛恵100年(愛恵学園のスタートから)となることから、記念のプロジェクトを企画するかどうか。

2. 役員

2025年3月31日現在の役員： 理事8人 監事2人

代表理事： 遠藤久江(非常勤)

業務執行理事： 後藤幹雄(常勤)

理事(非常勤)： 尾崎裕美子、河合裕志、杉浦孝夫、西崎攻司、宮永 耕、八尾 勝

監事(非常勤)： 西田俊二、廣田伊志子

評議員

2025年3月31日現在の評議員（非常勤） 8人

秋間文子、上田 健、内田 望、岸川洋治、助川征雄、高橋みちる、塚越敏夫、野原健治

3. 広報活動

愛恵だより第14号（2024年8月） 第15号（2025年3月）

編集委員：杉浦孝夫、西崎攻司

4. 事務局

常務理事（事務局長） 後藤幹雄

職員1人 佐賀ひろ美 嘱託職員1人 明星明子

パート2人 深谷真理子、安部栄春

5. 事務局会議

2024年4月17日、5月8日、6月12日、7月30日、8月21日、9月11日

10月9日、11月13日、12月11日、2025年1月17日、2月12日、3月17日

6. 届出、変更、登記

内閣府届出 2024年 6月30日 2023年度事業報告書、決算報告書

2025年 3月30日 2025年度事業計画書

法務局登記 2024年 7月31日 評議員、理事改選

2025年 1月24日 理事 久保悦子死亡退任

2025年 4月17日 理事 宮永 耕就任

7. 財産運用

財団の運営は主に基本財産運用益収入によっている。

2024年度基本財産運用益9,497万円(対前年度1,348万円増)は2024年5月に三井住友信託社債(利率0.1%)2.5億円を解約し、野村証券より3年間条件付き固定金利7.3%の外国債券を購入した効果による。

一方、三井住友信託社債を解約したことによる売買損として3,198万円が生じた。今後の対応として適宜有価証券の売買益を得て基本財産を増加させる運用管理を行う。

財産運用委員：杉浦孝夫、後藤幹雄

委員会開催 随時開催

8. 総務事項

- ・ 消費税納税 収益事業へ消費課税（2割特例）により納税。
- ・ 事務局体制強化のため、新たに職員の採用を検討し1人を内定した。
- ・ 会館屋上の防水塗装工事を実施した。
- ・ 会館内諸設備(トイレなど)の更新工事を実施した。

以上